

色麻町



伊達神社の稚児行列

色麻町の中心部、宿地区の式内社「伊達神社」の春の例祭に行われる「稚児行列」です。坂上田村麻呂勸請の由緒がある伊達神社で、蝦夷大墓公阿弭利為、盤具公母礼の降伏した日にあたるという4月15日に行われていましたが、現在は休日の5月3日に行われています。

祭り前日より神職、氏子により注連縄を社殿や町の通りに張り巡らせます。

稚児行列の当日は、氏子区域の各地区より男児女児が稚児装束をまとい奉仕します。元は女児のみでしたが、少子化により男児も加わるようになりました。

稚児たちは、山菜などが盛り込まれた三宝を持ち、太鼓や囃子に続いて通りを練り歩き、神社に到って山菜を奉獻します。

なお、奉獻する山菜については、蝦夷が降伏の際、田村麻呂に山菜を献上した伝説によるようです。

